

大分県立中津南高等学校耶馬溪校の存続及び魅力と特色のある学校づくりを求める決議

大分県立耶馬溪高等学校は、かつて地域の子どもたちが通う高校として大きな役割を果たしてきた。

しかし、平成19年に大分県立中津南高等学校耶馬溪校となり、現在は、旧下毛地域の過疎化、少子化が進む中、耶馬溪校の特色ある高校づくりに対する十分な理解も得られず、旧中津市や日田市の高校へ進学する生徒が増え、入学定員40名に満たない状況が続いている。

現在、耶馬溪校は、大分県教育委員会より「地域の高校活性化支援事業」の指定を受け、地元耶馬溪の自然、人、歴史を活かした地域に根差した教育が進められている。

今後、耶馬溪校が地域の学校として存続するためにも、高校の努力はもちろん、地域、保護者、学校関係者、企業、行政、議会等が、魅力と特色のある学校づくりのために連携し、耶馬溪校を支え、再生を図る手立てを共に考えることが重要である。

また、地元の子どもたちを含め多くの子どもたちから選ばれ、将来の夢や希望がかなえられ、さらに期待される高校が実現されることにより旧下毛地域の過疎化や少子化にも一定の歯止めをかけ、若い世代の定住にもつながるのではないかと考える。

よって、本市議会は、大分県立中津南高等学校耶馬溪校の存続を求めるとともに、魅力と特色のある学校づくりが進められることを強く望むものである。

以上、決議する。

平成28年9月30日

大分県中津市議会